

栽培種目：クリスマスローズ（ヘレボルス）

クリスマスローズ栽培その後（応用編）

氏 名：下澤博己（6-G）

〈要約〉

栽培フェスタ'17では「クリスマスローズ交配による新品種発見のすすめ」をおこないました。この応用編ではその後の栽培状況や新情報などを集めて報告します。

1. 初めに

私が始めたのは約10年前の2007年頃です。始めた頃は何も分からず、夏にも他の植物と同様に水を撒いていましたところ、枯れてしまいました。

それをきっかけに色々情報を取り、原産地や土の配合・肥料などを検討しました。原産地（主にヨーロッパの山の中腹）の環境と日本の環境の違いをどの様に対応すべきなのか、年々小さな失敗がある度にその都度、対策が必要と感じています。

ねらいは種まきから、3～4年後の開花時期に新品種が発見出来ることで、日々の対応が結果に反映します。

2. 方法

(A) 基本的な管理・作業方法：鉢植え

「クリスマスローズのすべて」別冊 NHK 趣味の園芸・参照

「クリスマスローズの世界展」にて情報入手：池袋サンシャインシティで開催（2月）

- ① 交配したい品種同士の開花時にその雄しべを母親品種の雌しべに付け交配させる。
- ② 種蒔き：5月頃、充実した黒い種が採れたら下記用土に植える。ポリポット使用。
- ③ 鉢の植え替え：10月から根の状態を見て、鉢の大きさを決め、植え替え始める。
- ④ 用土の更新（植え替え時に新しく入れ替える）：植物病対策に有効
簡便配合例：
市販の花の栽培用土・・・70%
鹿沼土・・・・・・・・・・20%
軽石小粒・・・・・・・・・・10%
- ⑤ 肥料を必要に応じ加える。（油粕固形肥料を1～2か月に1回程度）10月から3月まで。6月からは肥料がない状態にする。（過剰な肥料分や水分は悪影響を及ぼす）

(B) 畑栽培

過酷な環境で栽培して何が分かるかを知り今後にかすことを目的とする。

3. 結果

(A) 2019. 3月 庭の鉢植え

育てやすい方法（移動・植え替え容易）



(B) 2018. 4~8月 畑栽培を試みた



2019. 8月 雑草が茂り栽培困難

3年苗は何とか生育出来ているが、1年苗
2年苗は枯れてしまった。



※ 畑での栽培は雑草の影響が少ない環境にする。乾燥防止にこまめな灌水、自動灌水等が考えられる。

（簡単ではない難しい）

次に、勝手に生き残っているものを紹介。
（ど根性タイプ）

(C) こんな環境でも何とか生きている

- ① ブロック塀の下へのこぼれ種が成長し開花したもの
（わずかな隙間でも成長）



- ② 駐車場・コンクリート砂利地へのこぼれ種が成長したもの
（通常は車の下に隠れる）



(D)その他

交配による新品種の紹介

① 斑入りタイプ



② 多弁化(ピンク)



③ 上向きタイプ(ダブル)



4. 考察

- ① 畑のような環境は手間がかかり、良い工夫をしなければ、生き残れない。
- ② その反面、何とか生き残っている株もあり、今後のヒントになるかも知れない。

5. まとめ

- ① 日本の梅雨時や真夏のように過度な湿度や暑さに弱いですが、畑の様に乾燥し過ぎや雑草にも要注意。風通しの良い環境作りも重要。
- ② 6月から9月までは半休眠しているため、肥料は除く。水やりや雑草にも気を配る。
- ③ クリスマスローズは原種を除いては、何代も交配されたハイブリッド株が多く、更に交配して種から育てると、思いがけない新品種を発見出来る楽しみがある。